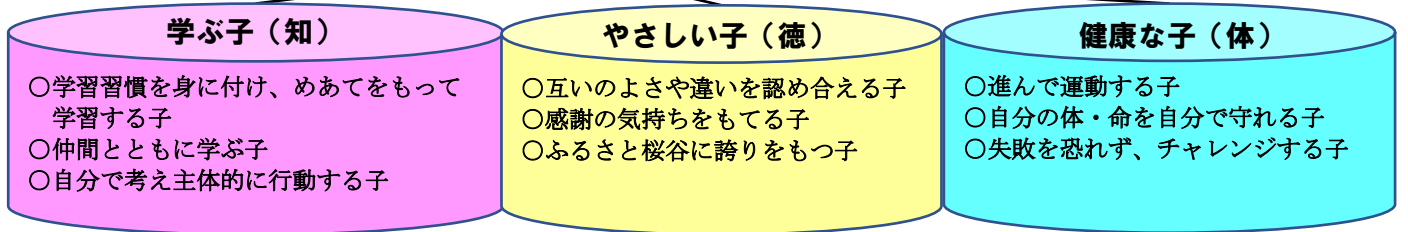
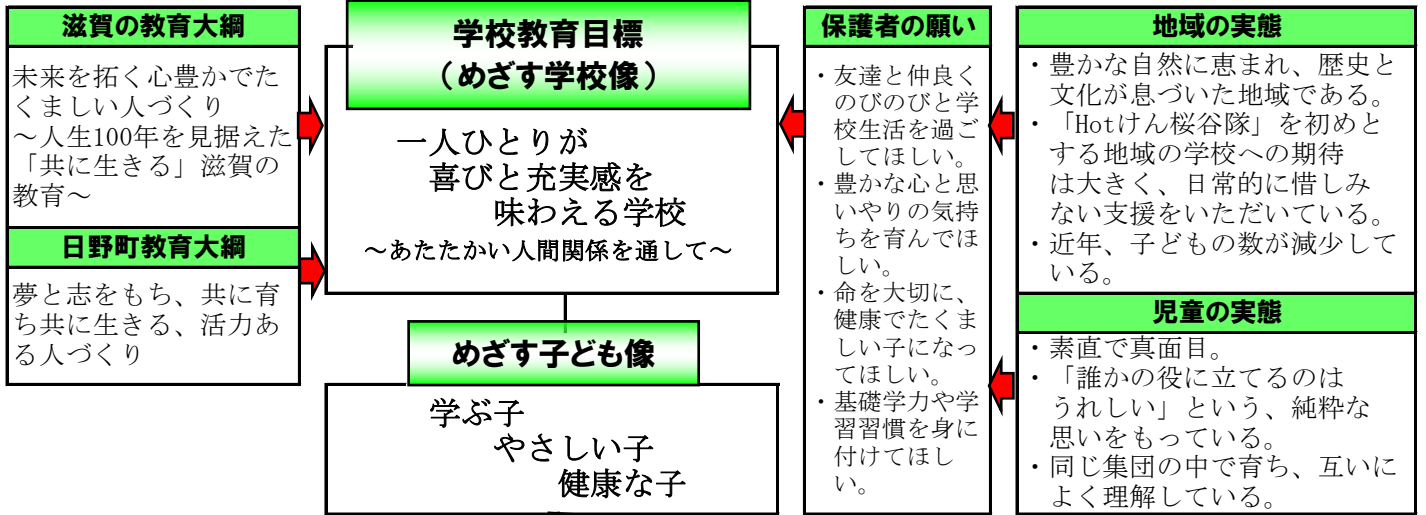


1 令和3年度日野町立桜谷小学校学校経営管理全体計画(構想)



本年度の重点目標

- | | |
|--|---|
| ①「できた実感」のある授業づくり
②読書活動の充実による読解力の向上
③児童が考え企画し実現する活動の充実
④異年齢活動の充実によるよさや違いを認め合える集団づくり
⑤関係機関との連携による切れ目のない細やかな指導の充実 | ⑥地域との連携による自分の体・命を自分で守れる児童の育成
⑦児童理解を進める教育相談の充実と校内体制の確立
⑧保護者との日常的な相談機能の充実
⑨地域に学び、人に学ぶ、ふるさと学習の推進
⑩OJTの活性化による教職員の資質向上 |
|--|---|

本年度の具体的方策

- | | |
|--|--|
| □学力向上
・「日野町学びに向かう力向上12プラン」の実践に努める。
・誰一人取り残すことなく、日々の授業で「わかった」「できた」という実感を積み重ね、自信をつける。
・ノート指導や学習規律等、教員が同じ歩調で指導する。
・児童同士が教え合う機会、学び合う機会、out putの機会を増やし、主体的に課題に向かえるようにするとともに、自己の考えを上げ深められるようにする。
・児童の情報活用能力を育成する。
・1人1台端末のよさを活かし、学びの質の向上を図る。
・毎週木曜日に「読書の時間」を設定し、図書館司書と連携しながら児童が読書の楽しみを味わえるようにする。 | □健やかな体づくり
・基本的な生活習慣の確立に向け、粘り強く指導する。
・食に対する理解を深め、望ましい食習慣を育む。
・体育科の授業や「すこやかタイム」の内容を工夫し運動習慣形成に努める。
・SNSやゲームとのよりよい付き合い方を啓発する。 |
| □豊かな心の育成
・自分や友だちのよさを見つめ言葉にする「人権の花」の取組を重視し、違いに優しい仲間づくりを目指す。
・児童主体の児童会活動や学級活動を進め、「任せられる」「認められる」体験により自己肯定感の高まりを目指す。
・異年齢活動を通して、違いを認め、仲間と協力するよさや、友だちの価値への気づき、リーダー性や思いやり等を育む。
・「掃除名人」の取組等、児童が自分たちの力で美しい学校を築こうとする意識を高める。 | □信頼される学校づくり
・地域や専門家との連携による避難訓練や防災学習を充実し、児童・教職員の危機管理意識の向上を目指す。
・「自分の命・体は自分で守る」ことのできる児童を育成する。
・教育相談の充実、校内体制の確立により、一層児童の心に寄り添い、児童の思いに耳を傾けられるようにする。
・保護者との日常的な連携に努める。
・学校の取組や児童の様子を積極的に発信する。 |
| | □特色ある教育の推進
・桜谷の豊かな自然・歴史に学び人に学ぶ活動を進めるとともに地域とビジョンを共有し地域とともに歩む学校づくりを目指す。
・小規模校の強みを活かして、視野の広がりや社会性の高まりにつながる活動を積極的に取り入れる。
・教育目標実現に向け全職員によるPDCAサイクルを確立する。 |

まなび部会

児童の主体的な学びを目指す校内研の推進、学習規律・学習習慣の確立、1人1台端末活用による、学びの質の向上、ノート指導、新聞の取組等

くらし部会

「健康週間」「すこやかタイム」「人権の花」「掃除名人」の取組の充実、生活アンケートの実施、縦割り活動の充実、児童会活動の活性化、生活規律の確立等

めざす教師像 一チームの力を結集し、どの教職員も同じ歩調でー

- 児童理解に努め、子どもと温かく向き合える教職員
- 専門的知識を学び続け、資質の向上に努める教職員
- 豊かな人間性、社会性を備えた教職員
- 教育者としての使命感、情熱を備えた教職員
- 小規模校の強みを生かし「明るく・焦らず・あきらめず」実践する教職員